

# 長研だより

No. 5

発行日

令和2年10月28日(水)

令和2年度の長期研修も、早1か月が過ぎました。25人の長期研修生たちは、日々着実に前へと進んでいます。今回の長研だよりでも、長期研修生たちの「前向きな気持ちで励んでいる姿」をお伝えしていきます。

## 相手の表情やしぐさを手がかりに



10月21日(水)に実施しました小松教育相談課長の「2回目」の講義は、「相手を知る」をテーマに、他者の感情を理解することにつながる活動が中心となった内容でした。今後、ミドルリーダーとして、子供たちや同僚の教職員に、他者との関わり方の手本を示すことが増えてくるであろう長期研

修生にとって、示唆を得る講義となりました。

長期研修生からは、「楽しくて、あっという間に時間が過ぎてしまった。」や「他者の感情を理解することは難しいと、身をもって感じました。」などの感想が聞かれました。

## やるべき内容が見えてきました！

10月19日(月)に、研究計画発表会を実施しました。10月5日の研究計画検討会と同様に、長期研修生たちは研究分野ごとのグループに分かれ、各自15分ずつという限られた時間ではありましたが、具体的な研究の進め方や内容等について発表しました。その後、与えられた30分の検討時間の中で、発表会に参加している他の指導主事や主査たちから、今後の研究を円滑に進めることにつながる、細やかな指導と助言を受けていました。



長期研修生からは、「発表はとても緊張したが、研究に対する自分の思いを十分に伝えることができた。」や「今後の自分のやるべきことがよく分かった1日となった。子供たちとの授業が楽しみになってきた。」などの感想が聞かれました。